

国内最大級 Filmarks  
映画レビューサイト  
2021年映画満足度 上半期第8位  
(レビュー数500-9,999件の作品)

アジア・アメリカ国際映画祭 2021  
長編部門  
最優秀撮影賞

アジア・アメリカ国際映画祭 2021  
ドキュメンタリー長編部門  
新人監督賞ノミネート

新藤兼人賞  
2021年度 最終選考作品



35人、全員密着。

# 14歳の栞

監督：竹林亮

企画：栗林和明 主題歌：クリープハイプ「栞」(ユニバーサル シグマ)

制作指揮：島田研一、上藤和典 ラインプロデューサー：福田文香 制作進行：堀井美月

監督補：河本永 撮影：幸前達之、米澤佳州子 録音：鈴木泰憲、國分玲 音楽：adNote 編集：小林謙、竹林亮、佐川正弘、毛利陽平

ナレーション：YOU 配給：PARCO 企画製作：CHOCOLATE Inc.

誰もが通ってきたのに、まだ誰も見たことなかった、青春リアリティ映画。

PARCO CHOCOLATE



14-shiori.com  
©CHOCOLATE Inc.

映倫  
EININ  
2021.4.6

# 学校が、世界のすべてだった頃。



あの頃、一度も話さなかったあの人は、何を考えていたんだろう。

とある中学校の3学期、「2年6組」35人全員に密着し、ひとりひとりの物語を紐解いていく。

そこには、劇的な主人公もいなければ、大きなどんでん返し也没有。それなのになぜか目が離せないのは、きっと「誰もが通ってきたのに、誰も見ることができなかった景色」だから。

そしてその35人全員が、どこか自分と重なってしまうから。まだ子供か大人かも曖昧なその瞬間、私たちは、何に傷ついて、何に悩んで、何を後悔して、何を夢見て、何を決意して、そして、何に心がときめいていたのか。これは、私たちが一度立ち止まり、いつでもあの頃の気持ちに立ち返るための「栞」をはさむ映画です。

世界の5000万人を釘付けにした

映画監督 竹林亮 × 企画 栗林和明による初の長編！

監督・竹林と企画・栗林は、2019年にYouTube上で短編映画「ハロー！ブランニューワールド」(動画名：もう限界。無理。逃げ出したい。)を発表。国内外で注目され、2020年現在約5000万回の視聴回数を突破。アジア最大級の国際短編映画祭でベスト・オブ・ザ・イヤー(大賞)を受賞するなど、業界注目のタグによる初の長編映画に。



14歳の儂く曖昧な感情を浮き彫りにする  
主題歌 クリプハイブ「栞」

“桜が散っても、うつむいていればその花びらが地面に咲いてる。”  
後悔を捨てて進むのではなく、後悔と共に進むことに  
光を当てる本楽曲が、今作の映画主題歌に。

5/13(金)～上映決定

キネカ大森

03-3762-6000

[https://tctg.jp/cineka\\_omori/](https://tctg.jp/cineka_omori/)